

平成30年度第2回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 平成30年6月22日（金） 午前10時～11時25分
2. 開催会場 印西市文化ホール 大会議室
3. 出席者 椎名武博委員、大和正明委員、安倉史典委員、林典子委員、矢野眞理委員、桑田佳雄委員、浅賀博委員、樋口祥明委員、志村はるみ委員、坂本富彦委員
(以上10名)
※粉川委員長欠席のため、志村委員が委員長職務代理として議長を務める。
4. 事務局 市民活動推進課 豊田課長、金井係長、杉山
(指定管理者) (株)東京ドームファシリティーズ 齋藤氏
市民活動支援センター 宮本センター長、五十嵐副センター長
5. 傍聴者 1名(定員5名)
6. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 議題
(1) 平成29年度印西市市民活動支援センターの事業報告について
(2) 平成30年度印西市市民活動支援センターの事業計画について
(3) その他
 - 4 その他
 - 5 閉会

7. 会議要旨

2 委嘱状交付

新たに委嘱した樋口委員に委嘱状を交付し、紹介を行った。

3 議題

- (1) 平成29年度印西市市民活動支援センターの事業報告について

[参考資料] 資料1、平成28年度指定管理者評価シート

《事務局報告》

資料1に基づき、平成29年度の指定管理業務について報告した。担当課としては、管理運営は1年を通して滞りなく運営され、相談事業や企画事業についても、アンケート等の結果から、利用者のきめ細かいニーズに対応して実施されたと考えている。決算については、資料1の27pに基づき、指定管理者から報告した。

《委員意見》

- ・資料1の収支決算書は平成30年度となっているが、29年度の誤りではないか。
→申し訳ありません。訂正します。(東京ドームファシリティーズ)
- ・収支の差し引き額29,872円の取り扱いは。
→指定管理者の収入とした。(東京ドームファシリティーズ、事務局)
- ・年々業績が改善されているのはよいことだと思う。近年ではSNSなどインターネットの活用による告知がさらに普及している。市民活動支援センターでもHPを運営しているが、ヒット件数などアクティビティ・ログによる追跡は行っているのか。こうしたツールを使って分析すると、顧客の動向を知ることができ、今後の事業展開にも役立つのではないかとと思われる。
→半年に1回程度、システムに詳しい職員にHPの検索データを調査させている。年々アクセス数は伸びており、検索数の多い団体なども把握している。自動的にデータがアップされるような機能は備わっていないので、その点は今後の課題としたい。(宮本センター長)
- ・登録団体数が着実に増えていることは素晴らしい。ただ、HPを確認したところ、団体情報については団体名だけで詳細情報までは掲載されておらず、団体HPへのリンクは40程度であった。市民活動支援センターとして、団体へのインターネット活用支援策について伺いたい。
(志村委員長職務代理)
→リンク先が40団体というのは、現在HPをもっている団体が40団体ということである。過去には支援策として、HPのつくり方講座を実施し、受講した数団体が既存HPのバージョンアップや新規HPを開設した実績がある。今後も引き続き課題と捉えて支援に努めたい。
(宮本センター長)
- ・市民活動支援センターとして、現在課題として考えていることがあれば挙げていただきたい。
→具体的には、印西市公益信託まちづくりファンドや企画提案型協働事業にチャレンジする団体に対し、期待に応えられる伴走支援をしていきたいと考えている。長期的には、限られたスタッフの中でどこまでそうした期待に応えられるかという懸念がある。(宮本センター長)
→市民活動支援センターと市民活動推進課は共に、新たな人材の発掘と育成が市民活動の活性化にとって常に大きな課題であると認識している。再任用制度の定着が市民活動を普及拡大する上で新たな障害になっている点是否めないが、市民活動の担い手となりうる市民は潜在的にまだまだいると思うので、その掘り起こしに努めていきたい。(事務局)
→団体の活性化と同時に、市民のニーズという観点を常に意識して、支援業務に取り組んでいただきたい。(志村委員長職務代理)

(2) 平成30年度印西市市民活動支援センターの事業計画について

〔参考資料〕資料2

《事務局説明》

- ・はじめに、事務局から指定管理期間について説明した。続いて、指定管理者から資料2に基づき、今年度の事業計画のうち、数値目標、企画事業、予算計画などについて、昨年度との比較を踏まえて説明した。

《委員意見》

- ・団体対象ではなく、一般市民の声を聞く機会として、利用者懇談会の回数を増やすことは可能か伺いたい。

- 貴重なご意見として検討させていただきたい。(宮本センター長)
- ・だんご通信作成の予算が昨年度より少なくなっているが、問題ないのか。また、講座費の予算が増えている一方、だんごまつりの予算が減っている点についても確認したい。(志村委員長職務代理)
 - だんご通信については、印刷業者の見積に基づいた予算額であり、特に問題はない。見積が安くなった理由としては、これまではA3裏表2つ折りの仕様で年4回発行していたものを、A4裏表の仕様で年5回発行に変更したことによると思われる。講座費については、資料2の10・11pに記載しているように、年間事業計画の必要経費を積み上げた金額である。だんごまつりについては、予算ベースでは例年と同額となっている。(東京ドームファシリティーズ)
 - 講座費には、団体との共催事業の経費も見込みで加えている。(宮本センター長)
- ・**現行**の指定管理者制度では、指定管理者にインセンティブを与えるようなことはできないのか。市民活動支援センターのあり方を考える上でも重要なことだと思われる。
 - 協定書で定められた指定管理料の範囲内で管理事業を行ってもらえる現在の制度上、インセンティブを設けることは難しい。(事務局)
- ・スタッフの配置は足りているか伺いたい。
 - 一昨年に厳しい時期があったが、現在は以前と比べ改善している。現在は市民活動の経験豊富なスタッフが増え、能力も高まっている。ただし、登録団体がさらに増えれば、業務量が増加し、人員不足になる可能性もある。(宮本センター長)
- ・そうであれば、ボランティアスタッフを検討することも一案ではないか。
 - だんごまつりなどの機会では団体に依頼しているが、通常業務をお願いするのは現状では難しい。(東京ドームファシリティーズ)
- ・夜間開館時に一人体制になることがあるようだが、安全面は大丈夫か。
 - 施設内**共用部には監視カメラが設置されている**。また、女性職員の場合は二人体制にするなどの配慮をしている。(宮本センター長)
- ・他自治体の市民活動支援施設が開催したNPO会計講座に参加したところ、非常に有益だった。印西市でも、NPOの課題に対応するテーマ型の講座を積極的に実施していただきたい。
 - 専門のコーディネーターによるボランティア・NPO関連なんでも相談会を、月2回実施している。その他、通常の開館日はセンター長または副センター長が随時個別の相談に対応している。講座の企画については、団体のニーズを把握した上で、今後積極的に検討していきたい。(宮本センター長)
 - 団体のレベルによって求める内容は異なってくる。印西市市民活動支援センターで実施している企画事業は基礎的な内容のものが多い。団体のニーズを適切に捉え、必要に応じて専門性の高い講座も実施していただきたい。(志村委員長職務代理)

3 その他

〔資料3、4〕

《事務局報告》

- ・平成30年度の企画提案型協働事業で市が募集する「指定テーマ」は、「竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業の実施」の1件となった。
- ・平成30年度の印西市公益信託まちづくりファンドは、3月に公開審査会が行われ、「まちづく

り活動スタートアップコース」が4件、「まちづくり活動パワーアップコース」が9件の計13件、助成金額2,154,000円が採択された。

4 その他（事務連絡等）

- ・ 次回の委員会は8月3日（金）午前10時に開催する。

以上